

2011年4月28日

各位

太平洋セメント株式会社

今後の特殊セメント供給体制について

去る3月11日に発生した東日本大震災で被災され亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。併せて、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、大船渡工場(岩手県大船渡市)の生産停止に伴い低熱ポルトランドセメント(以下、低熱セメント)・中庸熱ポルトランドセメント(以下、中庸熱セメント)の出荷について、お客様に多大なご心配、ご迷惑をお掛け致しておりますことを深くお詫び申し上げます。

低熱セメント・中庸熱セメントの今後の供給体制について、現時点での見通しを以下のとおりお知らせいたします。

1. 大船渡工場の状況について

2基あるキルンの内、1基は津波被害から免れたものの、残り1基と両系統共通の原料供給設備や出荷設備は、津波の浸水により被害を受けました。

大船渡工場は、被災地に立地しており、関係自治体等より瓦礫焼却での協力を要請されております。

関係自治体との調整が整い瓦礫処理が開始された場合、瓦礫処理とセメント生産を併行して行う上での技術上の問題から、大船渡工場での低熱セメント・中庸熱セメントの生産は、瓦礫焼却を行っている期間は困難な見通しです。

2. 低熱セメントの生産供給体制について

低熱セメントの大船渡工場の代替については、今秋の他工場での生産に向け、準備を進めております。

当社工場で生産再開するまでの期間、他社で製造した低熱セメントを、関東地区及び関西地区のSSから供給できる見通しですが、安定的な出荷は困難な見通しです。

3. 中庸熱セメントの生産供給体制について

引き続き熊谷工場並びに大分工場を増産することにより、中庸熱セメントは安定的に出荷できる見込みです。

上記は何れも現時点での見通しであり、状況により、時期や生産供給体制等変更する可能性があります。変更した場合は、あらためてお知らせいたします。

以上